



# 豪雪

自衛隊による救援活動

議会ブログはこちら♪



# 令和3年 1月招集会議



1月招集会議は4日に開会され、通年議会の会期を12月17日までの348日間としました。

# 令和2年 12月定例会議

12月定例会議は、12月8日から18日までの11日間の審議期間で開催されました。

条例案2件、議決案2件、予算案6件、の合計10件を審議。陳情4件を採択として、議員発議の意見書4件を含むすべての議案を全会一致で原案のとおり、可決しました。

2日目には一般質問が行われ、3議員が登壇し、村政を質しました。

## 条例

◆改正

○国民健康保険税条例の一部改正

・地方税法の改正による、個人所得課税の見直しによる軽減判定所得基準を改正するもの。

○手数料条例の一部を改正する条例

・法令改正の施行に伴い、関係条例を整備するもの。

## その他

○秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更

・市町村総合事務組合の構成団体が名称を変更することに伴い、規約を変更するもの。

○財産の処分

・村有地を成瀬ダム建設事業用地とするため、処分するもの。

## 年頭のあいさつ

議長 富田 義行

あけましておめでとうございます。

12月半ばでの大雪、28日での豪雪対策本部設置という異例の年末になり、豪雪との格闘を覚悟せざるをえない冬となりました。雪による事故や被害がこれ以上起きないように、また新型コロナウイルスの収束を何よりも先に願うものであります。

さて、昨年は、我々に夢と希望をもたせてくれたはやぶさ2のカプセル帰還と目的を完全に果たした偉業に大きな喜びをもてた年でありました。

宇宙といえば、いま国際宇宙ステーションで活動している野口聡一さんがクルーズドラゴン搭乗前に、「我々人類はすべて『宇宙船地球号』の乗組員であり、この船が持続して宇宙を航海していくには、乗組員全員の協力と努力が必要になるのだということだ」とのべておりました。（宇宙に行くことは地球を知ること・光文社新書）。

その地球号のほんの一点に位置する村へ一昨年まで行政視察で多くの方々に訪れていただき、わが村は歴史的に自立心の豊かな自治体であることを紹介してきました。

自治とは、それぞれが自分たちの判断でまちづくり、むらづくりをする事です。全国に1718の市町村がありますが、「一つとして同じ道はない」ということに誇りと自信をもって、だからこそ創意あふれる政治に一層努力しなければと思います。

根本的には国政が解決しなければならぬ課題が、我々の前に大きく横たわっています。とりわけ大都市部への一局集中、地方の衰退は、国土保全、国家安全保障のうえからも大きな問題です。大地震をはじめとする都市部への災害発生の時、災害支援、食糧支援などでささえとなるのは地方です。そういう局面がいつおきても不思議でない中で我々は暮らしています。今年、村の総合計画が新しくつくられる年です。今後10年の村の指針となる計画だけに、

子や孫の世代が安心して暮らせる羅針盤となるよう村民の智慧を集め、村当局も議会も最大限の力を入れてこの計画と向き合わなければなりません。

行政の重責を担う議会は、この間活動の改革に集中してとりくみました。最も大きな改革でありました通年議会は軌道にのり、徐々にその成果があらわれてきました。

一般質問通告締め切り日を行政報告後にしたこと、再質問以後の一項目毎の質問と答弁、議案に対する議員間での討議機会を設けるなど、議会の監視機能、審議を充実させる体制についても新たなとりくみが為されています。議会はこれらの改革を土台にして、活動の柱となる常任委員会活動など、いっそうの充実をはかる決意です。

現況は新型コロナウイルス禍の最中ですが、一人一人の人生に苦楽があるように、村という共同体で自治を進める私たちにも、国にも世界にも、順風満帆の時もあれば現下のような尋常でない状況も時に起こり得ます。そのときにどんな困難があつてもそれを乗り越える力となるのは、法則に沿った方針と計画をまず持ち、それに向かってみんなが「よし、これでいこう！」と進む道筋を共感、共有しあえることだと思われれます。先の宇宙の比喩を引けば、我々は「宇宙船村民号」の一員とでもいえるでしょう。

明けた令和3年を、そのための新たな船出の年として皆様とともに心意気高く迎え、村民各位のご健勝をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶を結ばさせていただきます。



書道教室書き初めのような様子

# 異例の大雪・・・

昨年は12月半ばから連日の大雪となり、雪害警戒部、雪害対策部、年末の28日には豪雪対策本部が設置されるという異例の冬となりました。

議会もこの大雪に対処し、年末28日に急遽、災害対策特別委員会委員長、副委員長、議会運営委員長、両常任委員長による会議を開き、雪対策についての状況把握と、その対処策、意見等を協議し、当局側に伝えたところです。



## 災害対策特別委員会

1月4日、豪雪に対処するため、災害対策特別委員会が開催されました。

豪雪対策本部設置前後の状況変化、現状の報告を受け、被害の未然防止のための課題、今後の対処などについて協議し、当局側に伝えました。

## 陸上自衛隊派遣

記録的大雪により、被害が発生しているため、災害救助法が適用されました。

これを受け、秋田県は1月8日、陸上自衛隊に災害派遣を要請し、9日から村内の倒壊の恐れのある高齢者世帯などの雪下ろし作業が行われました。



## 令和2年 12月臨時会議

12月臨時会議が、12月1日に開催されました。

秋田県人事委員会の勧告等を参考とし、期末手当の支給率を引き下げるため、関係条例の改正を行いました。

議員の期末手当についても、同様の改正を行う発議がありました。

条例案2件、議員発議1件のすべての議案を、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 条例

◆改正

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

○年間の期末手当の支給割合を、一人0.05カ月分引き下げるとの。

# 質疑白熱

令和2年度一般会計補正予算(第4号)の歳入・歳出に対する主な質疑の内容

**交付金事業から補助事業へ組み替えした経緯は**

**質問** 9月議会では学校1C工環境整備事業として児童生徒一人に付き端末1台を整備するための財源が交付金として計上されていたが今回、補助金に組み替えした経緯は。

**答弁** 本来、補助事業が優先される。9月議会の時点では国の予算の関係で補助採択が未確定であったため、交付金事業として計上した。その後、事業採択が決定したため、今回組み替えるもの。

### 新型コロナウイルス接種

**質問** 体制確保事業補助金は、どこまで想定している事業か。

**答弁** あくまでも新型コロナウイルスワクチンを接種する体制を確保するための事業であり、事務的な準備やシステム改修等に係る経費で、具体的な接種時期や方法等ははまだ示されていない。



厳しい環境に建つ栗駒山荘

### 栗駒山荘の大規模改修

**質問** 設計などに特別な問題があったため改修するのか。

**答弁** 通常、木造建物の耐用年数は30年で建て替えを考慮するが、栗駒山荘は雪の量や温泉ガス等の影響による経年劣化で改修する時期が来たもの。

**質問** 3年計画と聞いたが改修工事の概算はいくらになるのか。

**答弁** 調査してみないと設備分はわからないが、外壁、サッシの改修に伴う工事費用の概算は1億7000万円。

**質問** 公共施設等総合管理計画との内容との整合性は。

**答弁** 総合管理計画は公共施設の今後何十年間というスパンの中で全体でどれくらい経費が掛かるかをおおよそ見積もるもの。その対象物によって改修等の判断をしているので、必ずしも総合計画と一致するものではない。

### 鳥獣被害防止計画推進事業

**質問** 助成金の内容は。

**答弁** 狩猟免許の取得費用に対して助成するもので、今回新たに免許を取得した方に助成するもの。



昨年村内(岩井川)で目撃されたイノシシ

**質問** 指定管理先で負担する理由は循環拠点施設の公用車の車検に係る経費を、指定管理先で負担することのことだが、その理由は。

**答弁** 公用車であるため予算に計上していたが、建物と一緒に指定管理先で管理している理由から指定管理の契約に含めたため、減額したもの。

**質問** 他の指定管理されている建物に付属の公用車も同じ扱いか。

**答弁** 基本的には小規模の修繕等は指定管理先で支払うことになっているが、施設によって特徴的なものもあるので、そうしたものに關しては個別に協議している。

伊勢谷 勝 美 議員



## 耕作放棄地対策に変更はあるか

村長 基本的には変わりはない

**質問** 中間管理機構を通しての農地集積が行われているが、認定農業者を含め、各農業法人からは現在受託している面積で精一杯だという声もある。生産性の上がらない条件不利な場所も多い。

村のアンケート結果から「耕作できない農地が増える」ことを懸念する声が多く見受けられる。

今後、こうした農地が増えた場合の対策について変わりはあるか。

**村長** 基本的にはこれまで表明してきたことと変わらない。村単事業を有効に活用していただき、農地整備を進め、受託しやすいようにしていくことで耕作放棄地を減らしていきたい。

**質問** 村では持続可能な競争力のある農業の実現を目指し、農業法人を立ち上げた。設立当時から受託面積が徐々に増え、農機具の処理能力が予想を上回り、高額な農機具の更新に頭を悩ませている。今後の村の対応は。

**村長** すでに農業経営設備増強事業助成金を創設し、農機具等の更新に対する助成金の支援を行っている。軽微なものについては法人の努力で対応してほしい。今後もしつた方向で支援を考えていく。

### 6次産業化の推進は

**質問** 生産から販売まで一体的に取り組む6次産業化を推進しているが、コロナ禍の影響で営業販売に苦慮している。また、収入も低いため後継者不足が深刻化している。この問題を解決するために、村産品のより一層の差別化を図るために、村長にトップセールスをしていただきたいが。

**村長** 市場の開拓には様々な問題がある。一定の数量の確保も必要となる。これまで品質の良さを売りに特定のところ公表しながら着実に取り組んでいただけるようにセールスを行ってきた。今後もしつた姿勢で取り組んでいきたい。



その他の質問  
○二酸化炭素排出ゼロの表明について

高橋 清一 議員



## 後継者育成の具体策は

村長 農業次世代人材投資事業等を活用



**質問** 農業政策の具体的対策や進捗状況を聞く。

①後継者育成事業の具体的対策は、どのようになっているのか。

②農地の遊休化防止策は、どのように進んでいるのか。年々耕作しない農地が増加しているように感じるが。

③地域にあった農産物の進捗や、当村の米政策の進捗状況は。

**村長** ①日本の農業自体が、大変厳しい状況にある。農業

次世代人材投資事業等を活用し、少しずつではあるが若い人材が挑戦し育ってきている。

また、今後も農家と協議しながら様々な対策を打っていく。

②個人の農地に対し行政で何ができるか、受委託の推進の検討など難しい状況にある。農業委員会も積極的に対策にあたっている。

③村の水田フル活用ビジョンに基づき、野菜等の12品目を指定し振興作物としている。国の産地交付金や村単助成金など使い有効活用に取り組んでいる。米政策は、生産の目安を参考にしながら県と連携し農家に協力を求める。

## デジタル化の中でのコスト削減は

村長 電算処理一部事務組合を進めコスト削減

**質問** 国で進めているデジタル化について、事業推進とコスト削減への村長の考えを聞く。

①デジタル化は機器やプログラム利用料など多くの時間と経費が掛かるが、維持管理コストの削減をどう取り組むのか。

②行政システムの全国統一規格化の取り組みは。

③各種申請書の押印の省略化の取り組みは。村として、出来ることから進めないのか。

**村長** ①県内12町村で、電算

処理の一部事務組合を設け電算処理の経費削減に取り組んでいる。電算化について、組合試算では60%の経費削減の効果があつたとの報告を受けた。今後も、可能な限り維持管理経費の削減に向け努力していく。

②国のデジタル化推進は、全国統一規格化の取り組みである。令和7年までの目標で進んでいる。

③押印の省略化は、法定事務で国は90%以上進むと言われている。すでに、電子申請や自動交付機の利用により押印の省略化は進んでいる。



佐々木 正 利 議員



# 宿泊事業に助成してはどうか

村長 新たな支援策として検討したい

**質問** 村内の宿泊施設は新型コロナウイルス感染症の影響で大変厳しい営業状態が続いている。村内の宿泊施設を利用した場合、宿泊費半額や5000円引きなどの村独自の助成事業を行う考えはないのか。また、7月から開始した二人1万円のクーポン券が11月末で3割利用されていないようだが、期限を引き延ばすことが出来ないか。

**村長** 第三次の地方創生臨時交付金での対応が可能かどうかを含めて検討したい。クーポン券が12月末までには8割近く利用されるのではないかと思います。利用状況を見ながら、もし利用が少なかった場合には、その財源も参考にしながら、クーポン券と新たな宿泊の助成制度を支援策として検討していきたい。今のところクーポン券の期間の延長はない。

**質問** 今年、ツキノワグマによる人身被害があった。獣被害の安全対策として目撃した場所を地図上に落として村民に注意喚起してはどうか。

**村長** 獣目撃マップを作成しては

**村長** どういったところからどの獣が出て、そういった状況下を地図上で把握すること、一つの動きが見えてくるかもしれないし、今後の参考になると思う。もう作業に入っているの、なるべく早く皆さんにお示しできるだろうと思う。

**質問** 近年、職員採用試験の応募者が少なくなっていたが、今年の応募者数と結果はどのような状況か。

**村長** 大卒程度と高卒程度の1回ずつ2回実施している。大卒の申込者は3名あって、受験した人が1名。高卒の申し込みは1名で、残念ながら2つの大卒高卒とも一次試験の合格者はいなかった。村内からの申込が非常に少ない。優秀な人材を確保する意味からも積極的に受験していただきたい。

**その他の質問**  
 ○今冬の除雪対策について  
 ○コンビニ交付サービスについて  
 ○なるせ保育園について



## 12月定例会議議決事項名

国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
手数料条例の一部を改正する条例について
秋田県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約について
財産の処分について
令和2年度一般会計補正予算(第4号)
令和2年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)
令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
令和2年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)
令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
令和2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

## 請願・陳情

12月定例会議で4件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、すべて採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

### 採択とした陳情

- 安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情  
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 石川 洋基
- 「新型コロナ対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情  
(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 幸美
- 75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国への意見書提出の陳情  
(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 幸美
- 「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情  
(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 幸美

## 令和2年度一般会計補正予算(第4号)の主なもの

### 歳入

○国庫支出金	
※新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金減	▲2,260万円
新型コロナワクチン接種体制確保事業費補助金	300万円
※公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金(小学校389万円、中学校344万円)	733万円
○財産収入	
土地売却収入(成瀬ダム工事用地)	1,635万円
○村債	
※学校教育施設等整備事業債(小学校530万円、中学校480万円)	1,010万円

※交付金事業から補助事業へ組替。

### 歳出

○総務費	
事務補助等業務委託料追加	455万円
消耗品費追加(新型コロナ対策関係)	100万円
○民生費	
敬老会開催経費減	▲102万円
児童手当追加	110万円
○衛生費	
新型コロナ予防接種経費	300万円
○農林水産業費	
農業総合指導センター負担金減(新型コロナの影響により事業縮小)	▲60万円
桃太郎トマト生産支援助成金減	▲151万円
循環拠点施設管理費減	▲9万円
中山間地域等直接支払事業経費減	▲95万円
○商工費	
設計等委託料追加(栗駒山荘大規模改修工事)	479万円
○消防費	
消防団幹部研修経費減	▲61万円
村消防訓練大会経費減	▲72万円
消防訓練経費減	▲80万円
○公債費	
長期債元金追加(繰上償還分)	792万円

## 詳しくは議会事務局へ

会議はどなたでも傍聴できます。  
あなたも議会の傍聴に来てみませんか?  
次回定例会は3月上旬開会の予定!

## 成瀬ダム工事状況は

— 行政懇談会 —

10月20日、国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所と行政懇談会を開催しました。今年度の事業内容や次年度以降の事業計画などの説明を受け、議員からの質疑応答も行いました。

議員からは、ダム完成後の有効活用に向けた水源地域ビジョン策定のための取り組みに関することや、国内最大級のCSG工法によるダム建設工事の新たな課題等に関する事などの質問がありました。  
懇談会終了後に、現地を視察しました。



堤体打設工事の状況



暫時さんじ  
休憩きゅうけい

昨年は、新型コロナウイルスに翻弄され、年末には大雪にみまわれた年の瀬になりました。この冬、無事故の雪下ろしとなるよう、願っています。

年末の12月28日に、大雪の為、豪雪対策本部が設置された。被害が最小限であってほしいと願う。

大雪の新年を迎えて、改めて「自助・共助・公助」の取組の大事さを思う。

コロナワクチンの早期接種を願うと共に、風邪予防は、服装での寒さ対策を。首元、手首、足首を覆おほえば、寒さ対策に有効とのこと。用心していきましょう。

(副委員長・伊勢谷勝美)

# 委員会活動

## 秋の見聞

### 常任委員会合同 村内工事状況視察

11月13日、常任委員会合同で、今年度に村が発注した工事状況を視察し、担当者から説明を受けました。今回の視察内容については、12月定例会議で両委員長が意見を加えて報告しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、今年は学校等の施設訪問は行いませんでした。

大柳沢堰改修工事



林道谷地天江線整備事業(県営)



中部地区浄水棟機械設備工事



岩井川配水池築造工事



林道宮田上林線道路改良工事



田子内旧国道線舗装補修工事



# じょうずにかけるかな?



## 第4弾

なるせ保育園ひまわり組のみなさんに**大好きなもの**の絵をかいてもらいました!



たかはし  
ゆうちゃん



鬼滅の刃(竈門禰豆子)



よしだ  
たけきくん



りんご



いわの  
りんちゃん



鬼滅の刃(胡蝶しのぶ)

## あの質問はその後どうなったの?

平成30年3月定例会議での佐々木 正利 議員の一般質問

「若者定住促進住宅整備事業について」

追跡調査しました!



若者定住促進住宅

### 質問

田子内に平成29年度予算で建設された、若者定住促進住宅の入居状況はどのようになっているのか。入居を希望する方はどのくらいいるのか。また、自治会活動との関わりはどうなっているのか。

### 回答

田子内の若者定住促進住宅は全6戸のうち、12月末で3戸の入居が決定している。平成30年4月までの入居が2戸となっており、残り1戸については広報誌あるいはホームページで募集していきたい。なお、自治会活動については、入居の際に、参加をお願いしている。その地域の活動に積極的に参加いただくよう督促してまいりたい。

### その後どうなったのか...

平成30年度には、田子内若者定住促進住宅に続き、滝ノ沢若者定住促進住宅が建設された。田子内住宅6戸に加え、さらに滝ノ沢住宅4戸が追加され、10戸すべてに村外から移住された方々が入居されている。また、自治会等の地域活動についても参加していただけるよう、入居時にお願いしている。このほかにも、空き家活用住宅や定住住宅などが整備されている。今後も、移住定住施策への積極的な取り組みを期待したい。